



八幡公民館のいきいき学級開講式

5月12日（木）、八幡公民館では令和4年度のいきいき学級がスタートしました。

第1回目は「歌声サロン」です。稲荷山福祉会の丑丸明英さんの楽しいおしゃべりと歌に、終始笑顔がいっぱいの時間でした。

特集 わがまちの自慢

《主な掲載記事》

| | |
|------------------|---|
| 分館長さんに聞きました | 2 |
| 分館長・編集委員の紹介 | 3 |
| 公民館人事・公民館に期待すること | 4 |
| 特集 わがまちの自慢 | 5 |
| サークル紹介 | 6 |
| リレーエッセイ | 7 |
| もっと知りたいふるさと | 8 |

分館長さんに聞きました

4月から各分館（支館）の活動が新しいスタートを切りました。その活動の中心となる各地区の新分（支）館長さんには次の①②について伺いました。

- ①分館の主な活動計画
②地域の皆さんへのメッセージ

森東分館長（屋代）
中村克俊



を引き受けています。
昨年来多くの行事が中止となり、今年も活動の自粛等が求められると思いますが、地区の絆を大切に工夫しながら可能な限り計画に沿って進めています。地区的皆様のご理解とご協力を願っています。

鎌物師屋分館長（埴生）
宮坂博志



桑原中区分館長（稻荷山）
田中修二



にマレットゴルフ大会、2月に敬老会を予定しています。

特にコロナ禍で世の中全体会が孤立化し、人と人との交わりが少なくなってしまったようになります。田舎の良さは近所の人との井戸端会議などそこに住んでいる人たちの心の交流だと思います。分館活動を通じて、子どもたちを含め区民全体が明るく、楽しく過ごせる場の提供が少しでもできることを願っています。皆様のご協力を願っています。

①分館行事は、新型コロナウイルスの影響により6月の球技大会は中止となりましたが、夏祭り納涼大会、9月の長寿を祝う会、運動会を計画しています。

②昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、ほとんど分館事業を行うことができませんでした。

長野県及び千曲市の現状も決して予断を許す状況ではありませんが、感染防止対策を最大限に取り、地域のコミュニケーション、8月に納涼大会、9月に敬老会、10月に新たに区民スポーツの日を計画しています。区

民の意見を聞きながら、より多くの人が参加できるプログラムにしたいと思っています。区民から集落の周りに、ドーナツ状に新しい住居が増えています。昔からの集落の周りに、ドーナツ状に新しい住居が増えています。今年も厳しいスタートとなりましたが、8月に盆踊り、9月に地区運動会、10月に人権研修会、年明けに文化祭等を計画しています。

②昔からの集落の周りに、ドーナツ状に新しい住居が増えています。今年も厳しいスタートとなりましたが、8月に盆踊り、9月に地区運動会、10月に人権研修会、年明けに文化祭等を計画しています。

②森分館は東・西分館に分かれていますが、活動は合同で行っています。東・西区で交代に代表分館長を務めながら地区の活性化を図っています。東区の私が代表分館長

なりました。

分館行事は地域住民の皆様の親睦の場であります。特に分区対抗の球技大会では老若男女問わず大勢の方々に参加していただき、世代間交流の場にもなっています。

開催にあたって区民の皆様のご支援無しに分館事業も成り立ちません。役員一同力を合わせてまいりますので、ご参加、ご協力を願っています。

温泉分館長（上山田）
田口政弘



①森分館では、5月の敬老会をコロナ禍のため中止とし、記念品を配布しました。6月の分館対抗野球大会も中止で今年も厳しいスタートとなりましたが、8月に盆踊り、9月に地区運動会、10月に人権研修会、年明けに文化祭等を計画しています。

①6月に区民レクリエーション、8月に納涼大会、9月に敬老会、10月に新たに区民スポーツの日を計画しています。区民の意見を聞きながら、より多くの人が参加できるプログラムにしたいと思っています。区民から集落の周りに、ドーナツ状に新しい住居が増えています。今年も厳しいスタートとなりましたが、8月に盆踊り、9月に地区運動会、10月に人権研修会、年明けに文化祭等を計画しています。

①辻分館主催の行事は、6月にボッチャ・スマイルボウリング大会、8月に盆踊り、10月

①分館行事としては、6月の分区対抗ワンふらバレーとマレットゴルフ大会、8月に納涼祭、10月に分区対抗ソフトバレーリ大会、12月にしめ縄作りと餅つき大会を予定しています。また、公民館主催では7月の分区対抗400歳野球大会、10月の戸倉運動会を予定しています。

②昨年度も全ての行事が中止となり一昨年から分館行事が行われていません。今度もコロナ禍の影響により、6月の分区対抗の球技大会は中止と

①春の球技大会・バス旅行・夏祭り・文化祭など例年通りの行事を予定しています。
②2年続けて公民館行事のほとんどがコロナ感染拡大により中止となってしまいました。今現在も県内の感染拡大が止まりません。感染状況を見極めながら行事を行いたいと思います。感染拡大防止のため行事の自粛等、活動が制限されると思いますが、公民館活動を通じて親睦が深められるよう、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

①春の球技大会・バス旅行・夏祭り・文化祭など例年通りの行事を予定しています。
②2年続けて公民館行事のほとんどがコロナ感染拡大により中止となってしまいました。今現在も県内の感染拡大が止まりません。感染状況を見極めながら行事を行いたいと思います。感染拡大防止のため行事の自粛等、活動が制限されると思いますが、公民館活動を通じて親睦が深められるよう、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

令和4年度 分館長の紹介

(敬称略)

■戸倉公民館

| 分館名 | 分館長 |
|-------|-------|
| 磯 部 | 小柴 弘 |
| 福 井 | 秋山 実 |
| 新戸倉温泉 | 中村 峰明 |
| 上 町 | 坂井 康 |
| 上 中 町 | 水井 正徳 |
| 中 町 | 永井 均 |
| 今 井 町 | 吉池 正行 |
| 柏 王 | 塚田 文義 |
| 戸倉温泉 | 福島 光仁 |
| 若 宮 | 林 三喜徳 |
| 芝 原 | 中村 俊彦 |
| 仙 石 | 大谷 純一 |
| 羽尾第四区 | 西澤 修一 |
| 羽尾第五区 | 清水 哲男 |
| 須 坂 | 西澤 利基 |
| 黒 彦 | 小林 義夫 |
| 上 徳 間 | 中村 桂 |
| 内 川 | 瀬在 勇次 |
| 千 本 柳 | 酒井 政彦 |
| 小 船 山 | 南沢 芳弘 |



■八幡公民館

| 分館名 | 分館長 |
|-----|-------|
| 代 | 松林 正史 |
| 大 池 | 西野入啓一 |
| 姨 捨 | 山口 一幸 |
| 峯 | 岩井 将 |
| 中 原 | 和田 勉 |
| 郡 | 永田 義明 |
| 上 町 | 武井 崇 |
| 辻 | 小瀧 重信 |
| 新 宿 | 宮島 幸一 |
| 森 下 | 中島 一雄 |
| 北 堀 | 高木 敏行 |
| 志 川 | 北原 誠之 |

■稻荷山公民館

| 分館名 | 分館長 |
|-------|-------|
| 荒 町 | 前田 正 |
| 中 町 | 倉島 英史 |
| 本八日町 | 金田 勝仁 |
| 上八日町 | 町田 裕昭 |
| 治 田 町 | 谷津 進 |
| 元 町 | 池田 智一 |
| 小 坂 | 和田 信夫 |
| 東 区 | 竹内 茂幸 |
| 中 区 | 田中 修二 |
| 西 区 | 小林 秀樹 |
| 大 田 原 | 松林 定志 |

■屋代公民館

| 分館名 | 分館長 |
|------|-------|
| 屋代第一 | 中村 春彦 |
| 屋代第二 | 氷熊 悅夫 |
| 屋代第三 | 山口 敦 |
| 屋代第四 | 藤本 易 |
| 屋代第五 | 宮崎 隆 |
| 屋代第六 | 小林 尚樹 |
| 森 東 | 中村 克俊 |
| 森 西 | 久保 勝則 |
| 倉 科 | 両角 博幸 |
| 雨 宮 | 峯村 佳和 |
| 土 口 | 北村 健 |
| 生 萱 | 島田 孝 |

■埴生公民館

| 分館名 | 分館長 |
|---------|-------|
| 寂 蒔 | 宮坂 光一 |
| 鑄 物 師 屋 | 宮坂 博志 |
| 打 沢 | 湯原 憲造 |
| 小 島 | 丑丸 明英 |
| 桜 堂 | 田中 富信 |
| 杭 瀬 下 | 児玉 治夫 |
| 新 田 | 河井 智徳 |
| 中 | 相馬 一之 |

■上山田公民館

| 分館名 | 分館長 |
|-------|-------|
| 力 石 | 中村 義男 |
| 新 山 | 滝澤 茂二 |
| 漆 原 | 山崎 幸重 |
| 三 本 木 | 荻原 進 |
| 八 坂 | 田村 晃一 |
| 中 央 | 宮原 一治 |
| 城 腰 | 宮原 辰美 |
| 温 泉 | 田口 政弘 |

ようしく
編集委員です

令和4年度

編集委員

◎小林いせ子(稲荷山)
○飯島孝則(戸倉)
○久保田茂保(戸倉)宮下恵理子(上山田)
森田正和(上山田)
○委員長
○副委員長

主事

岩佐玲子(屋代)
近藤美加(埴生)
小笠原千鶴(稲荷山)
西澤正樹(上山田)
久美(戸倉)
○当番館

公民館人事



埴生公民館 館長
寺沢 昭夫 氏



戸倉公民館 館長
坂田 博 氏



埴生公民館 副館長
長島 克彦 氏



屋代公民館 副館長
高木 俊雄 氏

次のとおり任命されました。
新任は、戸倉公民館長に坂田博氏（須坂）、埴生公民館長に寺沢昭夫氏（鋳物師屋）、屋代公民館副館長に高木俊雄氏（倉科）、埴生公民館副館長に長島克彦氏（中）の4名です。

また、3月31日付で退任されたのは、次の3名です。
埴生公民館長の中島秀治氏は3年間、戸倉公民館長の安西治夫氏は1年間、屋代公民館副館長の中村良幸氏は2年間、それぞれ務められました。

今年も桜が咲き、学校では新学期を、会社でも新入社員を迎える。公民館活動も新年度の事業が始まりましたが、新型コロナ感染症は、感染者数の高止まりからバウンド傾向にある状況です。

公民館の活動はコロナ禍により2年にわたり、思うようにできませんでしたが、そのような中でも各公民館は知恵を絞り、工夫を凝らして事業を行ってきました。

戸倉公民館でも昨年度は、分館対抗400歳野球大会や戸倉運動会に加え、恒例の学習活動実績発表会等を中止とせざるを得ませんでしたが、いく

つかの事業は日程を繰り下げるなど困難な中で実施してきました。

しかししながら今年度の戸倉公民館の創造講座の募集では、受付当日に定員に達した講座がいくつもあり、コロナ禍の中でも市民の皆さんのが、「遊びたい」という熱い思いを感じました。

社会教育法では、公民館は「生活文化の振興」「社会福祉の増進」に寄与することが目的です。市民の皆様のご要望に応えられるよう本年度も引き続き感染症防止対策をしっかりと行いながら、創造講座や各種の家庭教育支援事業、ハイキング、分館対抗400歳野球大会など多くの事業を行っていきたいと考えています。

最後に今年度こそは新型コロナが終息し、コロナ禍以前のように、再び大勢の皆さんのが公民館事業に参加していただけることを願つてやみません。

館長からひと言

戸倉公民館長
坂田 博

公民館に期待すること

上山田三本木福澤治夫

えり千曲」として市外に出た友を迎え、「月の都千曲」を再発見する交流の場を設けて、Uターンを促してはどう

う。そこで成人式の5年後ぐらいに地元で生活している方で実行委員会を作り、「おかえり千曲」として市外に出た友を迎え、「月の都千曲」を再発見する交流の場を設けて、Uターンを促してはどう

でしよう。

故森嶋稔先生は「あたりまえ」という言葉を大切にされ、その中で敬老会事業は地域の育成会の協力で、対象者に子どもたちの「温かメッセージ」を届けることができ感謝しています。公民館の皆さんには助言指導をいただきありがとうございました。

「館報ちくま」の内容は、趣味や講座の紹介、ふるさと探訪も掲載され、また、「上山田公民館だより」では、「発見」等多彩な企画をされて住民が学ぶ後押しをしてくれています。

(注)
旧戸倉町生まれ
旧石器考古学者、小学校教員



千曲市では、2年ぶりに成人式が行われました。久しぶりの友との再会で、懐かしい話に花が咲いたことでした。

その中で紹介された講座や場所をめぐるツアーを企画されることはどうでしょう。また、千曲市の企業や農家等を訪問し、ふれあいの場を作り、地域住民との交流を深めたらどうでしょう。

成人式典実行委員を募集します!

令和4年度の成人式典を令和5年1月7日(土)・8日(日)に開催します。当日配布するしおりの企画や式典運営などに携わってみませんか。

対象者 平成14年4月2日～
平成15年4月1日生まれの人

応募期限 令和4年6月30日(木)

お問い合わせ…
八幡公民館(式典当番館)
TEL: 026-272-1076
FAX: 026-272-7174



笑顔で観客と一緒にあります

「郡」を紹介するにあたり、「郡ささやき会」を尋ねられたことを思い出しました。お宮の境内には、青年団若者たちが山の木を運んで村祭り、お盆の墓参り、盆踊りなどで嫁いだ娘、孫たちの里帰りをじっと待つのも親の楽しみでした。の少ない時代。当時は春秋の時を遡って、戦後の楽しみがありました。

男子は刀やマントを身に着けて、国定忠治や清水次郎長を演じました。また、郡には芸人がいて、夫婦漫才にも一役買つて、役者と観客が一体となり、お祭りを楽しんだ時代がありました。

さて、冒頭でご紹介しました「親分」とは?

青年団の芝居での親分役がそのまま呼び名になり、村の中でも親分と呼び合う時代でした。今でも時々耳にします。その時の尋ね人が、「親分」だったのです。

その当時のようなまとまりを現在に継承し、できたグループが、ボランティア「郡ささやき会」です。

が、見知らぬ方から「親分」を尋ねられたことを思い出しました。

時を遡って、戦後の楽しみがありました。

り、数年前、畑仕事中の主人が、見知らぬ方から「親分」を尋ねられたことを思い出しました。

り、数年前、畑仕事中の主人が、見知らぬ方から「親分」を尋ねられたことを思い出しました。



大頭祭に参加しました（平成27年）

上山田小学校にほど近い曹洞宗の名刹見性寺に、千曲市史跡「入山城跡」があります。戦国時代の連郭式山城の遺構がダイナミックに残っていますが、いつの頃からか地元の人もめったに訪れない、荒廃する里山の典型的な場所になっていました。

こうした現状に危機感を抱いた宮下繁明さん（当会会長）の呼び掛けで、新山の誕生して二十数年、地域活動や行事等でボランティア活動をしている小さなグループです。常に大きな役割を果たすべく努力し、大きな希望を持って次世代に継承し、伝統の灯りを絶やすことなく健康で楽しい地域づくりを目指しています。「親分」のいた時代のようにまとまりをもつ、郡の自慢とグループ活動を発表させていただきました。

私は一人では生きていけません。人間避けて通れない道があり、人に頼めない道ならば、「この指」とまれ。

現在の活動の中心は、麓からお城に続く「登城路整備」です。幾重にも折り重なる倒木や朽木をチェーンソーと人で取り除きながら、これまでに100段ほどの木製階段を設け、9合目まではほぼ安全に登れるようになりました。今年は最後の急登に階段を増設して登城路を完成させるほか、史跡案内看板の設置、お城を会場にしたイベント開催などを計画しています。

上山田 三井 章義

■山城復活から地域再発見へ！
■新山の歴史と自然に学ぶ会



整備前の登城路の倒木

これから目標は入山城跡の復活を手始めに、更に埋もれつつある新山地区の歴史や文化を再発見し、地区内外の多くの皆さんに発信していくことです。

そして、それらを次の世代へ継承していく道筋をつけていく息の長い活動を展開していくたいと考えています。活動へのご理解をよろしくお願いします。

大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。
入場には整理券が必要です。

日時：6月25日（土）午後1時30分から
会場：信州の幸あんずホール（更埴文化会館）
講師：荻原博子氏
講演テーマ：くらしと経済

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市民講座の日程は延期又は中止になる場合があります。



設置された階段

市民講座 開講





武田節に挑戦

あんずレクダンス

屋代公民館 松林 恵子

あんずレクダンスは、平成12年4月に発足し、今年で22年目を迎えます。湯本百合子先生の指導のもと、歌謡曲・演歌・唱歌などさまざまな曲に合わせて踊ります。最近は、武田節にも挑戦しています。自然に体幹や足腰が鍛えられます。毎週繰り返し踊るうちは、普段使わない筋が伸び、自信を持って踊れるようになります。

サークル紹介



なるのは、楽しいものです。休み時間には、いろいろな話に花が咲き、親睦を深めています。

先生からは、常に背筋を伸ばすよう指導を受けていますので、年齢は60代から80代（平均年齢77歳）ですが、皆、大変若々しいです。また、その日の体調に合わせて休みながら無理なく行なうことが、長く続けられる秘訣だと感じています。

私たち、毎週金曜日午前10時から11時30分まで、週1回のレクダンスを楽しみに屋代公民館2階講堂に集まっています。

健康維持を考えている方、いつでも大歓迎です。ぜひ一緒にレッツ・ダンス！

ほほえみダンス（瞳組）

上山田公民館

宮原恵美子

私たちほほえみダンスは、平成19年4月にスタートし、ダンスをとおして「仲間づくりと健康で若々しく」を目標に、酒井美代子先生のご指導のもと、楽しく活動しています。



一緒に踊りませんか

先生はいつも笑顔が大切と指導されます。発表を見た方からは、「元気をもらえた」「楽しかった」などの感想を寄せていただき、私たちの励みになっています。

随時メンバーを募集しています。毎週水曜日夜7時

す。また振りを覚えるのに頭を使いますので脳トレにもなっています。

昨年は11月の文化祭で「愛し赤城山」を発表しました。また白鳥園で開催された野外コンサートでは、ほほえみダンスの3グループが青空のもと、赤のロングスカートで華やかに「黒百合の歌」を踊ることができました。

日本空手協会

稻荷山公民館 小出 智

「桜と武道」

私たち日本空手協会は、毎週月曜日夜7時から20名で活動をしています。原稿の依頼をいただいた頃、ちょうど桜の開花宣言が出されました。毎年道場生に話していることです。なぜ日本人は今まで桜、桜と騒ぐのでしょうか。それは桜の優しさと、侍が自刃することに相通ずるものを見出しているからです。それを美しいとする日本の価値観。今の日本人にも無意識にそういうものが息づいています。空手は武道です。稽古だけでなく時にはこのような武道精神も学びます。



「愛し赤城山」を踊っています



大人も子どもも一緒に基本技の稽古をしています

「心身を強く」

更埴西中 森 大和

僕は小学3年生から空手を5年間続けています。コロナ禍でも稻荷山公民館で空手ができることに感謝しています。

毎年5月に行われる、県大会では、形と組手があります。その中で僕は、組手が苦手です。組手は寸止めで、相手が倒れるくらいの力の強さで、つきや蹴りを入れなければ勝てないので、それが難しいです。だから、いつも稽古で習ったことや、師範に言われていることなどを活かして、県大会で良い成績を残したいです。

がん・心疾患や脳血管疾患で
現代人の主な死亡原因是、
されています。

戦争体験記 募集!!

8月の終戦記念日に合わせ
「戦争体験記」を募集します。

戦地での体験、戦争中の生活、
戦争に関連したものなら内容は
問いません。

400字詰原稿用紙2枚から
3枚程度にまとめ、写真などがあ
りましたら付けていただき、
6月13日(月)までに、最寄
りの公民館
にお出しく
ださい。

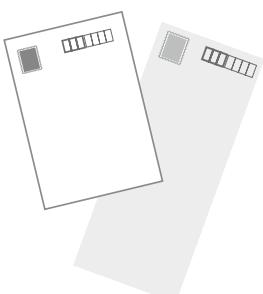


写真、エッセイなどを募集

公民館報編集委員会では、広く市民の皆さんに参加
していただき、より親しまれる内容の館報にしたいと
の思いから、館報の表紙を飾る写真やエッセイ、わが
まちの自慢など原稿を募集しています。

また、館報に対するご意見
ご感想などもお寄せください。

なお、詳細については最寄
りの公民館にお問い合わせく
ださい。



エッセイ
作って、食べて、
楽しむ

屋代 飯島 章彦

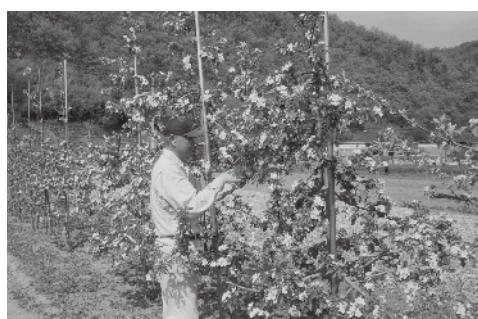


変異を続ける新型コロナウ
イルスのまん延は収まる気配
がありません。気軽に出かけ
たり、会いたい人にも会えな
い閉塞した状況が続いていま
す。このよな中、土に親し
んで野菜や果物を育てること
は楽しく、またストレス解消、
健常維持にも良いことです。
定年を機に自家用のりんご
6品種を植え、味わいの違い
を楽しんでいます。このほか、
なし・もも・うめ・あんず・
かきなどもあります。春の開
花から一通りの管理作業を通
じて育てる張り合いがあり、
収穫の楽しみ、知人におすそ
分けするのもまたうれしいも
のです。「りんご1日1個は
医者を遠ざける」は世界共通
の有名な格言で、豊富に含ま
れるペクチン・カリウム・食
物繊維などが、心臓病・脳卒
中、一部のがん、肥満などの
予防に効果のあることが証明
されています。

1990年代に野菜・果物を
食が中心であった米国では、
多くの摂取する健康増進運動
「DAY運動」に国を
挙げて取り組みました。その
結果生活習慣病の減少に大き
な成果がありました。その後、
この運動は世界各国に広まり
ました。

わが国でも、あまり知られ
ていませんが官民挙げて「5
DAY運動」の普及を進
めています。具体的には1日
に5皿分の野菜350グラム以上と果
物200グラムを摂取しようという健
康増進運動です。食の欧米化
が進んだ昨今、野菜の摂取量
はじわじわと減少し、米国に
逆転されてしまいました。果
物にいたつては後進国並みに

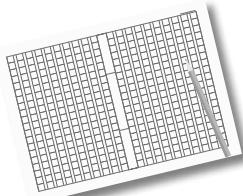
非常に少ない状況です。特
に若い世代はあまり食べませ
ん。古き良き日本の食習慣を
失わないためにも、畑や庭で
いろいろな野菜を育て、果物
を植え、作って、食べて、樂
しみ、バランスの良い食事に
心がけて健康生活を楽しみた
いものです。



開花したりんごの花

短詩型文学祭 作品募集

千曲市と坂城町で構
成する更埴公民館運営
協議会では、第27回更
埴地区短詩型文学祭を開
催します。



応募要領と投稿用紙は最寄りの公民館に
用意しておりますので、奮ってご投稿ください。

【募集期間】 7月1日(金)～8月31日(水)

【募集部門】 短歌・俳句・川柳・現代詩

【投 稿 料】 応募用紙一枚につき400円
(小・中・高校生は無料)

【投 稿 先】 各公民館

※「館報ちくま」及び「もっと知りたいぶるさと」は千曲市ホームページでご覧になれます。

もっと知りたい ぶるさと

86

大池区を分断した一本松ルート

(中央道長野線)

それは大池区民にとってまさに、晴天の霹靂であった。

昭和56年1月1日、「信濃毎日新聞」の一面に次の見出しが躍った。

『聖トンネル断念』 中央道

長野線豊科以北ルート

この路線は既に聖湖(麻績村)の下部をトンネルで通過し、中原区へ出るというルート(聖トンネルルート)がほぼ決定していたからである。変更理由は、「掘削すれば出水は必至」であった。

新たな整備計画路線図では、「新ルート(通称一本松ルート)」は大池地区を横切る」というものであつた。そして、この日から約1年



大池区内を二分する長野道

間、大池区は地元の分断に対し絶対反対の意思を持つて闘つていくことになる。

大池区民の総意

3月3日、大池区民は臨時総会において、「大池高速道路対策委員会」の設立と役員選任を行い、その場で高速道通過反対を決定した。

運動の経過

3月11日、「更埴市西部農協中央道対策委員会」が設立され、長野線に関する交渉窓口の一本化を図るため、大池高速道対策委員長も常任委員として参加することになった。

3月30日、大池公民館において、区民への高速道の説明が初めてなされた。

4月24日、常任委員会で、

「姨捨地区技術委員会」(代表・芥川真知埼玉大教授)より詳細な調査結果が発表され、最終結論として「当山岳地帯の長野線通過路線としては、一本松ルートしかあり得ない」と伝えられた。これに対し、大池高速道対策委員会の代表者らは、5月1日、市長・高速道長野事務所長に対し陳情書を作成し、

「中央道長野線の路線は、当集落の分断及び高架を絶対に避けること」と書面をもつて提出した。

5月15日、更埴市西部農協

中央道対策委員会が提出した陳情に対する回答の中で、高速道の幅が250mであることが判明し、「大池地区については分断もやむを得ないと考へている」と伝えられた。

7月になると250m幅について、大池区以外はほぼ了解の意思表示をしていた。しかし、大池区は、当初から絶対反対をしてきたので最後まで反対の態度を貫くことをあらためて意思確認した。

8月になると大池区には、行政の関係者が来訪し、250m幅の必要性や区上部ルートの困難さを説明した。他地区も条件闘争に入っていると

いう情報を得て、大池区でも「反対もよいが、いつまでも反対していくも問題がある。時機を見て受け入れることも考えたらどうか」との意見も出始めていた。

大池区は、その後も反対表

明を続けていたが、12月9日、市長の「市は責任を持って大池地区に対して努力するの

で市長に任せて欲しい」という言葉に、委員全員が「市長の発言を信頼し、250m幅を認めることで意見が一致した」として、対策委員長の音頭で手打ちをし、遂に一本松ルート案に賛成の意思表示をした。

12月12日、更埴市西部農協

中央道対策委員会の代表者は、市長に対し、発表された

250m幅ルートの受け入れと、

基本的要望事項を履行するよう申し入れを行った。

そして5日後の17日、市長は長野県知事に対し、変更路線計画帯の受け入れと全線路線定着を申し入れ、ここに大池区の反対闘争は終結した。

現在中央道長野線は大池区

内を二分して走っているが、区民の心は決して分断されてはいない。

編集後記

参考資料
『高規道長野線記録』
『更埴市史』

大池区民 白井裕之



「聖トンネルルート」から「一本松ルート」に変更
(『更埴市史』より)

クは少ないのではないか。今だに密にこだわっている方がイドラインも変えるべきだ。何が安全なのかの指針を示す方向で。公民館活動には人と人との交流が大切だ。顔を合わせて感染リスクは抑えられる。コロナ感染を避け、活動を中心とするのは簡単だが、工夫すればこそ和や絆が生まれる。コロナ感染リスクは抑えられる。まずは、戸外の活動から始めてみてはどうかと思う。(戸倉・K)